

Social Haptics: 身体感覚の共有による共感的コミュニティの創出に向けて

日 時：11/11（日）10:15-11:45

会 場：テレコムセンター 1階 アゴラステージ

出展者：科学技術振興機構

RISTEX「日本的 Wellbeing を促進する情報技術のためのガイドラインの策定と普及」

ACCEL「触原色に立脚した身体性メディア技術の基盤構築と応用展開」

概要

家族や地域のコミュニティによって維持される他者との関係性は、情報化された近代社会において、精神的・身体的・経済的セーフティネットとして機能してきました。しかし現在、人と人の関係性の分断は現実の社会だけでなくインターネット上の社会にも及んでいます。

このような現状に対して、人間と情報環境とのインタラクションの観点から新たなアプローチを行えないでしょうか。近年目覚ましく進化する、触れ合いや生体情報などの身体感覚を共有するテクノロジーを活用し、1つの体験を皆で共有したり他者の経験を自分事化することを通じて、共感でつながる新たなコミュニティのスタイルが築かれる可能性を、情報学・社会学・心理学など様々な専門分野の研究者が集まって議論しました。

登壇者

渡邊 淳司 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員 (特別研究員))

田中 由浩 (名古屋工業大学 准教授)

坂倉 杏介 (東京都市大学 准教授)

チェンドミニク (早稲田大学文学学術院・表象メディア論系 准教授)

安藤 英由樹 (大阪大学 准教授)

南澤 孝太 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 准教授)



安藤英由樹

情報は本当に人を幸せにしているか?

Well-being
「心の豊かさ」
能力が自律的
やりがいのある!

こんなことをしています!
感覚や無意識をサポート。
コミュニティ
友の家

Well-beingって何ですか?

南澤孝太

Virtual Realityで
どうやって感覚供-?
からやりました!

実験
「VR」
「Haptics」
「VR」
「Haptics」
「VR」
「Haptics」

応用
「VR」
「Haptics」
「VR」
「Haptics」
「VR」
「Haptics」

Haptic Designer
の人材コミュニティ育成

田中由浩

感覚って主体的!

実験
「VR」
「Haptics」
「VR」
「Haptics」
「VR」
「Haptics」

「VR」
「Haptics」
「VR」
「Haptics」
「VR」
「Haptics」

「VR」
「Haptics」
「VR」
「Haptics」
「VR」
「Haptics」

Social Haptics

身体感覚の共有による
共感的コミュニティの創出に向けて

Graphic by YURI NAKAO

渡邊淳司

「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」

触覚とWell-beingをつなぐ!

触覚
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」

触覚
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」

坂倉杏介

「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」

「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」

「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」

① 多様性

身体感覚認知は
多様な
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」

② Social Haptics

「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」

③ 主体性

「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」

④ 時間の共有

「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」

⑤ 月府に落ちる

「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」
「触覚」
「Well-being」